

異文化って何？異文化を知ろう！

10

所 属	三重県桑名市立在良小学校	実践者	倉世古 稔允
対 象	小学校4年生（58名／2クラス）	実践日	2023年 10月～1月
実践教科	総合的な学習の時間	時間数	9時間
ねらい	・世界や異文化に肯定的に出会う。 ・他国の文化に出会うことで、日本との相違点に気づく。 ・いろいろな人が暮らしている世界で、幸せに暮らすためにできる行動を見つけ、つなげる		
実践内容	回	プログラム	備 考
	第1回	○国名クイズ ・「国名あいうえお」でたくさんの国名を出し合う。 ・地図帳で国名があるか探し、位置や国旗も確認しながら親しむ。	
	第2・3回	○世界のいろいろな文化を知ろう ・人間知恵の輪でアイスブレイキング。 ・タブレットでいろいろな国の文化(食文化、学習等)を調べる。 ・班でクイズを作って出し合う。【クイズ】	明治「比べてみよう！世界の食と文化」
	第4・5・6回	○バーンガをやってみよう。 ・素敵なハートでアイスブレイキング。 ・バーンガのカードゲームをして、楽しいゲーム→言語の難しさ、伝えるために感じたことを考えていく。	・トランプ各班分 ・ルール説明の紙(各班分)
	第7・8回	○みんなが過ごしやすい町とは？ ・タブレットで過ごしやすい桑名市にするために大事なことをまとめる。【回し読み、ギャラリー方式】	・社会科や総合で学習した福祉関連の考えも入れてよいことにした。
	第9回	○過ごしやすい町を表現しよう ・各班で自分たちが考えた過ごしやすい町には何が必要か模造紙に書き、コンペをする。 ・いいねと思うところに☆印を入れる。	
成 果	・世界と肯定的に出会うことを第一の目標としたので、児童は意欲的に様々な国のことを知ろうとし、スムーズに進んでいくことが多かった。		
課 題	・異文化交流体験ゲーム「バーンガ」を取り組んだ時に、児童が異文化と出会う体験ができ表情が変わるタイミングを見ることができ、とてもよかったが、ルールを理解できない4年生児童が多く、練習に時間を要した。高学年や中学生だとより適切な時間でルールをきっちり理解できたうえで進めることができると考えられる。 ・外国の文化にはかなり親しみに自発的に調べる児童も多かったが、過ごしやすい町に表現していくところは考えつかない児童も多かった。		
備 考	・どこかで、ゲストティーチャーとして外国の暮らしや文化を学習する機会を検討したが、日程が合わず、来年度に持ち越した。 ・総合での福祉学習を絡めて行ったので、過ごしやすい町に対しての認識に違いが産まれた。		